

浜松支部理念



互奉協
助仕力

隊友

はままつ

発行所：公益社団法人 隊友会
静岡県隊友会 浜松支部

発行責任者：新田 満
編集責任者：春名 正徳
題字：寺 光
E-mail: taiyukai.hamamatsu@gmail.com
ホームページ: http://taiyukai.or.jp/wordpress/

令和4年秋の叙勲受章の喜び

瑞宝小綬章

川上 勝二 隊友



皆さん、朝のNHK連続テレビ小説「舞いあがれ！」をご覧になりましたか。このドラマは私にとって、とても感慨深いものがあります。パイロットを夢見るヒロインが航空学校で操縦訓練を受けるシーンがあり、登場人物で自衛隊出身の鬼教官は、航空大学校で8年間勤務した私の姿だったからです。【毎日が真剣勝負であった。自分が操縦をするのであれば気は楽である。教育しながら管制

見ている。事故寸前だったことは何回もある。】三方原台地で生まれた私は、浜松基地の訓練機が飛ぶのを毎日のように見て育ち、いつか



2008.06.25 08:20

3等陸士として勉強や訓練に励み、わずかではあったが毎月の給料の一部を実家への仕送とした。4年間の教育を修了し、赴任したの

をモニターし、他機の見張りもしなければならぬ。1時間の訓練を3名の学生に対して行わなければならぬ。訓練が終わった学生は後席で爆

自分も飛びたいと思っていた。北星中学3年の時、担任から少年自衛隊という制度があることを聞き南基地で受験した。忘れたころに陸上幕僚監部から合格通知が届いた。希望は空百だったし、高校も受験したが、家庭の事情もあって悩んだ末、昭和38年4月、少年工



2008.06.26 16:36

は八尾の中部方面航空隊である。飛行隊ではヘリ搭載無線機の整備を担当した。当時、陸自には操縦学生制度はなく、パイロットの養成は部内選抜制度「陸曹航空操縦課程」が創設されたばかりであった。2回目の受験で合格し、小平で英語教育、明野で座学教育、岩沼分校でセスナ機L-19、T-34での操縦教

育を受けた。当時の教官は旧軍出身者で、毎回、後席から蹴とばされ、ヘルメットを叩かれた。悪天候で飛行できない日は、まさに天国であった。卒業後の赴任地は八戸で、海釣り・

山菜取り・スキーを楽しんだ。また、八甲田山の酸ヶ湯温泉へは妻と二人でよく出かけた。楽しい思い出がいっぱいだ。その後、幹部候補生学校へ入校し、卒業後はヘリの操縦訓練を受けた。飛行機と違いどこにでも着陸できるヘリは、低速度でも失速せず色々な用途があり、何回か災害派遣にも動した。次の任地は、宇都宮分校で後輩操縦士のヘリ操縦教育を担当した。その後、2年間の統幕勤務では、藪中隆三空将補と鈴木至空将補の副官も務めさせていただいた。統幕の次に、木更津勤務となりV-107の機長となった直後に、国土交通省の航空従事者試験官として勤務することとなった。航空従事者試験官を12年間勤務し、

52歳の時に航空大

に悔いはないと思っ

ていますが、人生

に悔いはないと思っ

ています。

妻の支え、周囲の

多くの方々の支え

があつたからこそ、

無事故で翼を畳め

ることができたの

だと思えます。

今回の受章を医療

施設で治らぬ病と

闘っている妻に

「母ちゃんありが

とう」と、

そつと伝えました。

引つ越し21回。妻

には、ほんとうに

お世話になった。

自宅の扉には「自

衛官募集」の看板

を設置し、微力な

がら隊員募集に協

力しています。

今回の受章に恥じ

ないように国民と

して、人間として、

地域住民の皆さん

とも仲良く余生を

過ごしたいと思ひ

ます。自衛官とし

て入隊して本当に

良かった。

益々ご健勝にてご活躍下さい

ますよう祈念申し上げます。

受章おめでとうございます。

益々ご健勝にてご活躍下さい

ますよう祈念申し上げます。

第39回危険業務従事者叙勲

瑞宝双光章



松浦 正幸 隊友

この度、瑞宝双光章の栄に浴しましたことに感激しております。これもひとえに諸先輩、同僚、後輩等多くの皆様のご指導、ご支援の賜と深く感謝しております。

終生、身に染みて感じるところとなりました。航空機のシステムを整備する部隊整備員から、整備幹部となりましたが、立場は変わっても本質的に変わりはなく、規則、基準を遵守するとともに、培った知識と経験を最大限に活かして、飛行安全の確保に取り組んできました。

ともすれば作業効率を優先する整備という考え方もありますが、毎朝のパイロットブリーフィングを通して、操縦者の立場に立った確実な整備を実施すること、そ

れに基づいた十分な説明を実施することで、「運用と整備」相互の信頼関係が醸成され、これが飛行安全の確保に繋るといふことの重要性を学びました。また、契約本部では検査官の経験を通して、企業における品質保証の考え方や契約、品質管理への取り組みについて知ることができました。そして、群司令等の上司からご教授いただいた「柔軟に対応するための考え方」を学ぶことができたお蔭で現在があると思っております。

特に、航空機の整備では、飛行安全に関わる品質の確保と、運用する機体の効率的な提供という、相反する命題を抱えています。加えて、操縦者からは、機体それぞれが持つ固有差をできるだけ少なくすること(機体の平準化)が要

求され、また、飛行教育での学生の単独飛行においては更に高い信頼性が要求されます。このため、整備と運用との調整を適切に図ることにより、飛行安全の確立に貢献できたものと思っております。現在は、防衛産業において教育と技術の管理業務を担当させていただき、しておりますが、こ

れまでの経験を生かして、今までにいただいたものを少しでも還元できれば、との思いで日々取り組んでおります。

受章おめでとうございます。益々ご健勝にてご活躍下さいますよう祈念申し上げます。

令和4年度第2回佐鳴湖クリーン作戦に参加しよう！

日時:令和5年3月5日(日) 午前8時30分~午前9時30分

「佐鳴湖をきれいにする会」主催の佐鳴湖クリーン作戦が上記の日時のおり実施されます。今回も多数の隊友の参加をお願いします。駐車場が大変混雑しますのでお早めにお出かけ下さい。

- ★ 集合時間: 午前8時
- ★ 集合場所: 龍雲寺・東岸公園・本部周辺
- ★ 服装等: 支部帽・軍手・長靴等作業に適した服装
- ★ 持ち物: 火ばさみ、熊手等

災害ボランティアコーディネーター養成講座の参加希望者募集

募集期間: R4.11.1~R5.3.31
 講座予定日: R.5.5月~6月 全3日間
 参加申込: 細部が決まりしだい希望者にご連絡します。
 参加費: 3,000円 支部より負担します。
 その他: 浜松市で定員30名の養成講座なので希望者全員が参加はできません。
 担当: 支部長 新田 満
 TEL:090-1833-5919

浜松支部は県隊友会の事業計画に基づき、災害ボランティアコーディネーターを養成します。浜松市の災害時に支援を必要とする方とボランティアをつなぐ災害ボランティアコーディネーター養成講座の参加希望者を募集します。希望者は担当まで連絡をお願いします。



新しい仲間

隊友の訃報

神津 益夫 隊友
 (元空自 教整隊)
 令和4年8月7日 逝去
 ご家族からの連絡
 謹んでお悔やみ
 申し上げます

浜松支部行事予定

- ◎一水会: 3月1日、4月5日、5月10日 18:30~ 浜松市農村環境改善センター
- ◎佐鳴湖クリーン作戦: 3月5日

公益社団法人 隊友会
 県隊友会 お知らせ

<http://taiyukai.or.jp/wordpress/>

浜松支部の会勢

数字で見る支部活動(R4.1.26 現在)
 ★実勢会員数: 367名
 正会員: 339名
 特別会員: 28名
 ★「隊友はままつ」発行部数: 600部
 手配り: 89部
 メール便: 277部
 基地内配布: 204部
 その他: 30部

編集後記

1月が行きました。2月は逃げました。3月が去ろうとしています。昔から、年明けの3ヶ月の早々と時間が過ぎる様子が表されてきました。とにかく一日が過ぎるのが早く置いていかれそうです。それでもまだまだ寒い日が続きます。暖房料金も高く、節約すれば体が寒く、節約しないと家は家の懐はますます寒くなって、暖かくなる春が待ち遠しいですね。